

第 02361 号

発行日 平成 27 年 4 月 22 日

●本日のプログラム

親睦例会

●次週のプログラム

お祝い事

55周年記念例会リハーサル

下館ロータリークラブ会報

Rotary International
District 2820
SHIMODATE ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT



ロータリーに
輝きを

RI会長 ゲイリー C. K. ホアン



会長 鈴木光則

副会長 小林一彦

幹事 早瀬浩一

会長エレクト 新井和雄

事務所 ダイヤモンドホール 〒308-0847 筑西市玉戸1053-4 TEL0296-28-8511 FAX0296-28-8533
ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール shimodate@ri2820.jp

例会場 毎週水曜日 PM12:30～ ダイヤモンドホール(筑西市玉戸1053-4 TEL0296-28-8511)



前例会報告 第 2652 回 2015/4/8(水)

会長挨拶

鈴木光則 会長

変な天気がつづいていますが、皆様お変わりございませんか。

4月5日「クリーン作戦&花見例会」を開催しましたが、あいにくの雨でクリーン作戦は中止とさせていただきました。参加を予定されていた、ボーイスカウト・ガールスカウトの皆様にはご迷惑をかけてしまいました。

花見例会は旭が丘集落センターで開催し地元、旭が丘住民の方、国交省の方、市役所土木課の方、ローターアクトクラブの参加をいただき、目的であったロータリーファミリーの方々との懇親を深めることはできました。残念な事はクラブ会員の参加が少なく、クラブ行事も同じように感じています。参加者が少ないという事はクラブの団結が希薄になっているのでしょうか。

今後、地区大会・55周年記念例会とありますが、会員の参加がなくては企画している事が困難になります。多くの参加をお願いいたします。

幹事報告

早瀬浩一 幹事

1. 筑西市長 須藤様より4月5日のお花見例会・クリーン作戦の感謝とお祝いメッセージが届きました。
2. 昨日、舞浜で開催されたバレエコンクール主催者よりお礼状が届きました。
3. 結城ロータリークラブより、創立50周年記念式典の案内が届きました。5月23日、ダイヤモンドホールにて行われます。詳細は、おって連絡いたします。

新入会員卓話

杉山イネ 会員

皆様、こんにちは。このたび下館ロータリーに入会させて頂いて数ヶ月になりますが、このような素晴らしい会に入会させて頂いただけただけを深く感謝申し上げます。又、本日は卓話の時間をいただけたということで貴重なお時間ありがとうございます。



私は昭和20年8月29日という終戦直後に栃木県の水橋村という田舎の農家でうぶ声をあげました。父、母、祖母、兄、姉、妹、おじ、お手伝いさん数人の大家族の中で育ちました。私は幼い頃、腸が弱い子供でした。父がみつばちをたくさん飼っておりまして、くまんバチに刺されて大泣きした事もありましたが、田舎の四季はとても感動的です。春は菜の花畑やレンゲ草畑でかくれんぼ、夏にはせみとりやわが家の近くを流れる川で水あそびや魚釣り、秋になれば田畑一面こがねいろにそまり、空は青くすみわたり、夕方にはまっかな夕やけ、時間と共に流れゆくその光景のすばらしさは言葉には表わせません。冬になれば雪もたくさん積もって雪だるまや雪合戦などして遊びました。

こうして田舎に育ち縁あって筑西市に嫁いで参りました。その頃は、家族も10人位いましたのでとてもにぎやかで食事作りも楽しかったです。今は主人、3男、私と3人家族の他に犬と猫がいます。

さて、趣味のお話をさせていただきます。若い頃は山歩きが好きで尾瀬や穂高、槍ヶ岳など登ったりしてました。

今は、謡曲と仕舞です。キッカケは下館薪能が始めての出合いです。それまでは「能」のことはチケットも高いし、何を語ってるのか解らないし、自分には縁のないものと思っておりましたが、下館薪能を始めて観た時、荘厳で幽玄さの中にもひびきわたる笛や鼓の音色に別世界に迷いこんでしまった気分でした。謡と舞と囃子の持つ不思議な魅力に感動でいっぱいでした。

その後下館修諷会に入会させて頂きました。その頃は会員も20名近くおりましたが、今は少人数で和気あいあいと行っております。講師の先生は日本でも指おりの梅若修一先生と梅若雅一先生です。毎月2回下館に来ていたゞいておりますがもう20年以上になると思います。永い間にはいろいろありました。仕事が忙しいときや、ケガをして永く休んだとき、声も出にくくなり気も落ちこんでしまいます。そんな時はもうやめちゃおうかな!などと思ったりしました。そういうときに仲間や先輩に「どうしたの!」「待ってるヨー」と声をかけて頂きました。

やさしい先輩(日向野ひさ子様)や仲間がいて理解ある家族がいる。そして人生の師がいる。人生の師とは梅若修一先生の事です。お稽古は厳しいですが謡や仕舞が出来なかったとしても「どうして出来ないの!」とか叱ったりせず先生自ら何回も



教えてくださいますので安心です。少し出来るようになる「よく覚えましたネ」とか「よくできますネ！」とかおほめの言葉をいただくとうれしくなってしまう。私も自分の子育てを振り返ったとき、3人の男の子を育てるときオニの様な顔でいつも叱ってばかりいましたので今、大反省しております。

人を育てるとは 相手を信じること
良いことをほめること
待つこと

この歳になって身をもって痛感しております。

習い事をしていて一番の楽しみはなんといっても発表会です。年に何回か行われますが、4月のときは仲間内だけで行い、夏には能楽堂にての発表会です。今頃になるとこんどは何の曲にしようかなと夢ふくらませますが、今年は観世能楽堂も移転ということで3月30日をもってお休みになりましたので2年後の銀座にオープン予定です。

今迄のなかで思い出の曲は数年前に発表会で行った「山姥」です。「ヤマンバ」なんとなく聞こえが良くないけれども味わいのある奥の深い一曲です。山姥とは事典には鬼婆、鬼女、山に住み人をとって食べる妖怪とありますが、謡曲の中の山姥は山奥に棲む心やさしい女の妖精が、山、谷、峰と山巡りし、自然のすばらしさを現したものです。謡の他に笛、太鼓、鼓が入った舞囃子で行うことにしました。発表会は7月。それまで数ヶ月しかありません。月に2度のおけいこでは間にあいません。曲が決まったときは曲の内容やことばを何回も読んだり必死になって早く覚えようとしますが、元もと私は覚えも悪く年令も若くはないので人様の何倍も努力しないとかならないと思いながら、気持ちばかりあせてしまいます。

舞の中には足でリズムを打つところがあります。特に7拍子のところは難しいです。地謡さん囃子さんのリズムに合うようになるまでは大変です。リズム感の悪い私が一番苦労するところです。練習しているところはあまり人様には見られたくないので自宅の玄関にカギをかけて練習します。足拍子で思いっきり床をトン、ドーンと打つと縁の下からドラネコたちがビクビクしてニャオーとかわいい顔を出します。その顔をみるのもたのしみのひとつです。

発表会近くになると自分の練習不足にあせりを感じ、今年が出るのをやめようかなと思ったりもしますが、そのうち何時は孫といっしょに舞うこともできるかなと思ったりして「ソレー、ガン

バレ！」とファイトがわいてきます。そして衣装を決めるのも楽しみの一つです。

基本は紋付き袴ですが、これに準ずるもので良いとのことなので曲目が山姥だから山の夕やけ色、幼い頃からあこがれの夕やけ色、薄いベージュにしてやさしい「山姥」に決めました。

さて発表会当日は朝からドキドキです。観世能楽堂は渋谷・松涛の静かな住宅街にあります。正面玄関には梅と松が、玄関右横に観世稲荷、こゝでおまいります「いつもありがとうございます。今日も一生懸命舞いますので見守って下さいネ」とお願いして楽屋に入ります。発表会はまだ始まっていて、会場での謡の声がひびきわたっています。ますます緊張してきます。控室に行くとき々です。出演に合わせて着付ける人、モニターで見る人、又この日は各地からの参加なので年に一度しかお逢いできない先輩、仲間もいます。皆この世界で何十年という人がほとんどで、私などはまだ序の口です。そうしているうちに昼食です。

食事は幕の内弁当です。都会だけにお弁当までもステキです。見た目もおいしそうにいろんな食材が数えきれないくらい詰まっています。でも私の出番は午後なのでそちらが気になって食すことも思うように参りません。本番近くになって袴をつけていたゞき、出番までの待ち時間、胸はドキドキ、お手洗いや何回も行ったりでまるで子供みたいと自分でも苦笑してしまいました。待ってる間は、もし間違ったらどうしよう…でも思いっきりガンバレばいいじゃないかと自分に言いかけ深呼吸、何回も深呼吸して落ちつかないまゝ舞台へ入ります。この時は切戸口と言って小さな入口より左足から入ると、そこはもう神聖な舞台、舞台の大きさは三間四方で鏡板には松が描かれています。客席もよく見えます。まず始めに私が自分の位置確認をしてすわります。そのあと地謡さん、お囃子さんが入ってきます。その間深呼吸そして曲が始まり謡ったり舞ったり、そして苦手な足拍子を打ったときはとても良い音が響きます。

それは舞台の下にカメがうめてあって音響を良くするためだそうです。舞っているときは地謡さんの息づかいや囃子方さんの気迫も伝わってきます。夢中で舞っているうちに終わり近くになると「あー、もう終わり」と安堵と寂しさがやってきます。舞台より降ると「アー、ヤッター」と一息大きくつき地謡さん、お囃子さん、後見の先生に感謝の心をこめて「ありがとうございました」と深くあいさつして終わりです。



そのあと控室へ戻ると先輩や仲間たちが「よかったヨー」と声を掛けてくださったりおしゃべりに花が咲きます。そういう雰囲気も発表会のなによりの楽しみです。

発表会が終わっていつも思うことは「あー、あそこをもう少し練習しておけばよかったのになー」と思うばかりですが、先生や先輩、仲間に支えられての発表会は有意義な充実した一日でした。

私にとって謡曲や仕舞は趣味でもありますが生活の一部のような気がします。忙しかったり、体調がすぐれないときなど謡ったりすると気分も落ちつきます。

謡曲そのものの腹式呼吸で深い呼吸が上手になれば血行もよくなりセロトニンを脳へ送れることで生涯身も心も健康ですごせるのではないかと信じております。

できるかぎり謡曲、仕舞をつづけ、日本の伝統文化のすばらしさを一人でも多くの皆様に理解していたゞき、次の世代に伝えていけたらいいなと思っています。

さて仕事ですが保育園と介護を行っております。将来ある子供達と共に日々すごしております。

愛と感動をテーマに皆様に。

介護につきましては株式会社「稲善」ではデイサービス、ショートステイ、グループホームを行っておりますが、最近特別養護老人ホーム「あしま」をたちあげ皆様に支えられて3年目になります。特老「あしま」は10人をグループとしたユニット型になっております。

少人数制で、入居者様一人ひとりの人格尊重、家族と変わらない環境、いつまでも自分らしく生活していただけるよう職員一同努力しております。

本日は私事ばかりのお話になってしまいましたが、温かい下館ロータリークラブの皆様に支えられて数ヶ月、今後ともご指導の程宜しくお願い申し上げます。貴重なお時間を、ご静聴ありがとうございました。

スマイルBOX 石川真二 副委員長

▶鈴木光則さん 杉山イネさんの卓話楽しみにしていました。

▶早瀬浩一さん 今日突然の雪でびっくりしました。お帰りは十分気をつけて下さい。杉山イネ会員卓話よろしくお願いします。

▶日向野陽さん 杉山イネ会員の入会后初卓話楽しみです。

▶新井雅勝さん 杉山イネ会員の卓話楽しみにしています。

▶新井利平さん 杉山会員の卓話を記念して。

▶岩崎晴男さん 杉山イネ会員の卓話楽しみです。

▶関谷徹さん 杉山さん卓話よろしくお願いします。今月もニューモラルを配布させていただきます。

▶加藤昌美さん 杉山会員の卓話楽しみです。

▶司代隆之さん 杉山イネさん新入会員卓話を記念して。楽しみにしております。宜しくお願いします。

▶百目鬼博行さん 杉山さんの卓話楽しみにしております。

▶永井啓一さん 杉山イネさん卓話楽しみにしておりました。よろしくお願いします。

▶河添康徳さん 一昨年リスボン国際大会で知り合った友人が本日ポルトガルより遊びに来ました。あらためてロータリーの素晴らしさを知りました。杉山さん卓話楽しみにしています。

▶堀江勤さん 杉山さん新入会員卓話宜しくお願い致します。楽しみにしております。

▶前島賢彰さん 杉山会員の卓話を楽しみにしております。よろしくお願いします。

▶鈴木健一さん 杉山イネ様、新入会員卓話よろしくお願いします。たのしみです。

▶長島明伸さん 杉山さん卓話よろしくお願いします。

▶軽部正紀さん 杉山イネ会員の卓話楽しみにしておりました。よろしくお願い致します。

▶杉山イネさん 皆様こんにちは。今日は卓話をさせていただきます。朝からドキドキしております。宜しくお願い致します。

▶石川真二さん 杉山さん、卓話よろしくお願いします。

本日の合計 20,000 円 累計 1,006,942 円

出席報告

黒澤昌之 委員長

会員数	出席	欠席	病欠	免除
35	24	8	0	3

■メイクアップ

月日	メイクアップ場所	氏名
4月2日	筑西きぬ RC	軽部正紀
4月5日	地区資格審査委員会	百目鬼博行